

## 付録 3: 21 世紀 COE プログラム「情報科学技術戦略コア」

本 COE プログラムは、大学院情報理工学系研究科5専攻と大学院工学系研究科精密機械工学専攻が中心になり、情報科学から機械工学まで含む幅広い分野の研究を融合することにより、未来の実世界に密着した 21 世紀の情報科学技術を確立し、幅広い分野における研究教育を新しい情報学体系に向かって戦略的に先導するための組織である情報科学技術戦略コアの形成を目的としています。このため、次のような体制で COE プログラムを推進しています(図1)。

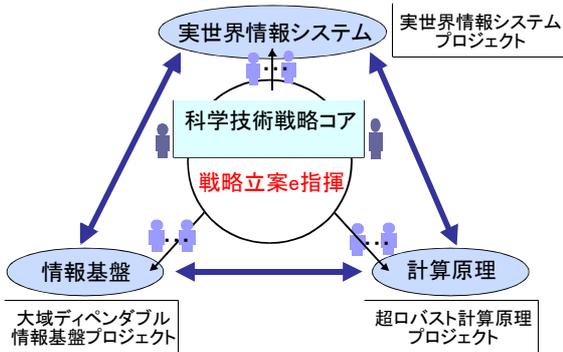


図1: 情報科学技術戦略コアの構造

● 戦略コアヘッドクォータ:3つの融合プロジェクトの統括を行います。COE としての長中期の戦略的研究の企画立案, 研究成果の社会への還元, 知識の体系化と人材養成, 情報科学技術戦略提言機能などを行います。

■ 実世界情報システムプロジェクト: 人間を中心とする情報システムの実現を通じ, 実世界情報学を展開します。人間, ヒューマノイド, エージェント, ユビキタスアプライアンスが共棲する実世界情報環境を構築します(図2)。

■ 大域ディペンダブル情報基盤プロジェクト: 超分散システムのアーキテクチャ, ソフトウェア, 通信, ヒューマンインタフェースの各要素技術の確立, ユビキタスデバイスとリフレクティブミドルウェアによる実世界情報基盤の構築, 大域知能の具現化を行います(図3)。

■ 超ロバスト計算原理プロジェクト: 実世界情報システムとその情報基盤を構築するために, アモルファス計算原理, ハイブリッド計算原理, 大規模複雑系計算原理の解明と, 幾何的構造の不整合性を回避する推論原理の構築を行います(図4)。

各プロジェクトで得られた研究成果を体系化して活用することによって, 実世界情報分野で社会をリードする人材を育成するために, 平成15年度から各専攻共通の, 情報科学技術戦略コア教育コースを開設します。

(<http://www.kc.t.u-tokyo.ac.jp/COE/>)

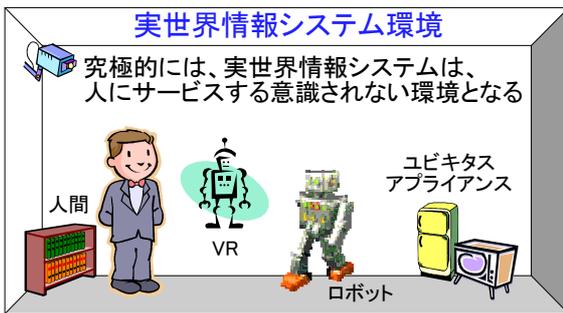


図2: 実世界情報システムプロジェクト

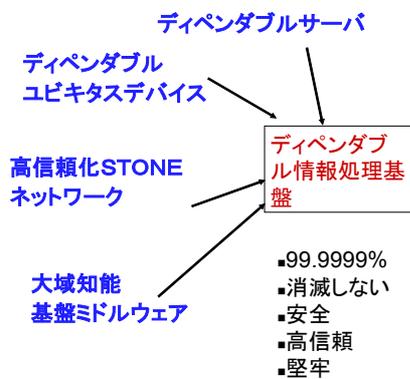


図3: 大域ディペンダブル情報基盤プロジェクト

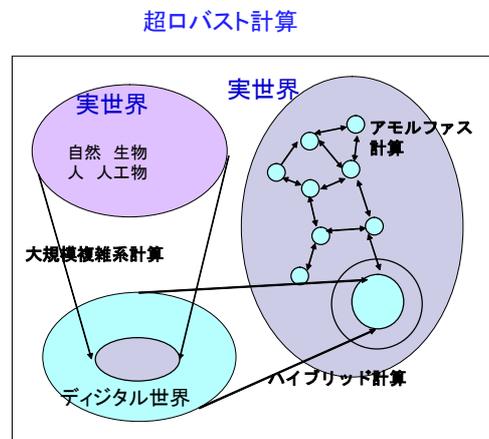


図4: 超ロバスト計算原理プロジェクト